

## 2012年11月18日 「真の父母様聖和40日礼拝」での真のお母様のみ言」

「文鮮明天地人真の父母天宙聖和式」が挙行されてから40日目となる天曆9月11日(陽曆10.25)、天正宮博物館の 後方に位置する本郷苑において「文鮮明天地人真の父母聖和40日礼拝」が行われました。真のお母様は、時には静かに、時には力強く貴い御言を下さりながら、これから統一家の行く道を提示してくださいました。御言の要旨は以下のとおりです。(文責：教育企画チーム)

### <「文鮮明天地人真の父母様聖和40日礼拝」での真のお母様の御言>

#### 「多くの実績を立て、清平でお父様に会ってください」

皆さんはよくわからないかもしれませんが、今日は新しい摂理の出発点となります。お父様は40日間、霊界の隅々まで渉猟されました。摂理史に出てきた人物らともお会いになられ、神様の天地創造も自ら体恤されました。私もお父様と同じ心情で心の中で対話をしながら生活し、準備しました。(その期間を通して)お父様の考えが私の考えになり、私の考えがお父様の考えになりました。

真のお父様は今後、韓国教会を神霊と真理で新しくしなければならないという私の考えに120%賛同され、「本当にありがとう」と言われました。

真のお父様は1960年以後、世界で摂理を行われてきました。韓国の教会は皆さんを信じて最善を尽くしなさいと言われましたが、最近の15年間、皆さんは責任者を始めとして(皆が)責任を全うできませんでした。そのため真のお父様は心を痛められてきたのです。皆さんを信じてこられたのです。また、皆さんは実際の実績よりも誇張された報告をよくしました。しかし、今後、私が治理する間はそのようにしてはいけません。

お父様が私たちに、最後に「最善を尽くしなさい」と強調されながら、「死生決断、全力投球」という御言を下さいました。皆さんは、お父様に栄光を差しあげられないことに罪の意識を感じなければなりません。

韓国では、主人が亡くなれば3年間、侍墓生活(父母の喪中にその墓の傍に小屋を建てて3年間暮らした韓国の昔の伝統)をしました。山で3年間、生食をしながら乞食のように生きてこそ孝子として認められました。それで、私は特別警護チームを立てたのです。

皆さんは40日間に何を考えましたか。皆さんが死生決断を今、しなければなりません。いつ死を覚悟して御旨を成し遂げますか。多くの人々はもてなしを受けることを望みました。それを認めますか。(「はい!」)お父様にもう一度誓ってください。地上で解かれれば天でも解かれ、地上で結ばれば天でも結ばれるのです。肝に銘じてください。皆さんはお父様の愛をたくさん受けたでしょう?今がそれに報いる時なのです。皆さんの生涯も多くは残されていません。本当に時間がないのです。多くの人々が自分の兄弟姉妹、同族であると考えなければなりません。死生決断しますか。(「はい!」)もう報いることのできる時間がそれほどありません。お父様は、私がこの地上にいるので実体的にさらに大きく役事されるで

しょう。皆さんはこれから清平を通して、さらに多くのことを体恤するでしょう。今後、お父様にお会いしたければ、多くの実績を持って来て、清平でお父様に会ってください。お父様が行かれる場所は私の所と清平しかないのです。一心不乱に一つとなり、一つの志で原理を中心として進みます。(拍手)

大陸会長らも来ているでしょう？聖酒を配ります。これですべての食口が心と体を綺麗に洗い流して来るようにしなさい。わかりましたか。大陸会長は前に出てきてください。(各大陸会長らは、真のお母様の前に出てきて、真のお母様に代わって文亨進世界会長から聖酒を受け取りました。)